

# 人権だより (第3号)

平成31年1月31日  
人権教育委員会

人権とは、「誰もが生まれながらにもっている自分らしく幸せに生きる権利」のことです。何気なく過ごしている日常の中にも、人権という視点から見るとさまざまな問題があります。自分のイライラを他人にぶついたり、相手の気持ちを考えずに話をしたりしていませんか。

人権教育委員会では、皆さんに「自分を認め、他人を認め、お互いを尊重できる人」になってほしいと思っています。1月18日（金）、第2回人権教育LHRを行いました。各学年の様子をお伝えします。

## <4A> 「就職差別を見抜く～よりよい進路実現に向けて～」

内容：旧社用紙の「申告書」と、統一書式の「履歴書」を用いて就職差別について学習しました。また、模擬面接で不適切な質問についての対応も学習しました。



就職する際の人権侵害について初めて知りました。「働く」ことについて知識をしっかりと付けた上で、就職試験に臨みたいと思います。

家族の現状や収入など、自分と関係ないことについては、丁寧に回答を断ることができるようになりました。

## <2A、2C> 「高齢者の理解」

内容：高齢者にはどのような苦勞があるのかを想像し、自分たちにできる手助けを考えました。また、体験キットを使って、耳が聞こえにくい・目が見えにくい・手足が曲がりにくいことの大変さを疑似体験しました。



目を完全に見えなくて、重りを倍に増やしての体験。不自由なことが増えて怖かった。



音が聞こえにくいので、日常生活が大変だと思う。  
ペアを組んだ相手は、階段を降りるときが大変そうだったので、人によって違うんだなあと思いました。



自分たちは一時的にだったけど、お年寄りの人たちは、これがずっと続くのだから、大変だろうと思った。その大変さを理解したサポートができればいいと思う。

### <3A> 「立場をかえてスマートフォンとの付き合い方を考える」

内容：スマートフォンによるトラブルの事例をDVD視聴によって学び、自分が保護者の立場にたったとき子どもたちをトラブルから守るためにどうするか考えました。



文字だけだと、いい意味で言ったことが悪口にとらえられる場合があるのでそれに気をつける。

自分が知ってほしいことと個人情報の線引きがむずかしい。



保護者の立場を考えたのは初めてだったのでいろいろ考えるきっかけになった。

子どものことを考えたつもりが制限しすぎたりするのは嫌だなと思う。たとえば友達、またその会話まで確認したりするのは嫌。でも守らなきゃいけない。むずい！

きれいなバラにはトゲがある…。便利なものほど気をつけなければ…。

### <1A・1C> 「アンガーマネジメント」

内容：「怒り」を感じたときの体の変化について考え、怒りの感情のコントロールの方法を考えました。



今後怒りがいつくるか分からないけど、今回いろんな人から聞いた対処法を参考にして平静を保とうと思った。

この授業を通して自分に合った対処法が分かったので、これからの日常生活に活かしたいと思いました。

